

令和7年度 黒沢尻東小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～いきがいのある学校～

黒沢尻東小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

〔定量的現状〕

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」

・R7年度目標:10人(R6年度:17人)【6月実績で算定】

「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」

・R7年度目標:0人(R6年度:0人)

〔定性的現状〕

○ 教職員の意識

- ・校務支援システムで、出退勤時間記録の取組を全教職員で実施。
- ・時間外勤務をしている教職員が固定している。

○ 管理職のマネジメント

- ・スクラップアンドビルドの視点を持って、業務の見直しを継続して行っている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する先生方のワークライフバランスの向上を図ります。

<目指す姿>

- ・ 教職員が、子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供する観点から、働き方の見直しを図っていく。
- ・ 業務改善について、教職員が積極的に提案する。
- ・ 働き方改革に係る課題について、教職員の代表者が共有する場を設け、解決に向けて話し合う。
- ・ 教職員が、学年や所属する部で協議する時間を十分に確保する。
- ・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合う。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プランの時間外在校等時間月80時間以上の者をゼロにする取組を確実に実施します。
- ・ 管理職が、時間外在校等時間月45時間を超える見込みの職員について、現状と一緒に確認し、ワークライフバランスの向上を図ります。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 教職員が放課後に指導にあたっている課外活動部の在り方について検討・改善します。
- ・ 次年度以降、家庭訪問を住まい確認に変更できるかどうか検討を図ります。
- ・ 3学期の通信票の文章記述欄を2カ所から1カ所に変更し、業務の効率化を進めます。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します。(安全衛生委員会等)
- ・ 会議資料については、紙での配付を廃止し、クラスルームやメールでの配付・周知を行います。
- ・ 会議の進め方について、資料の事前配布により合理化を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 教職員が行っている登下校における通学路の見守り活動の対応の在り方について検討・改善します。
- ・ 教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、学校運営協議会の場で協議した内容を公表し、保護者の方に理解いただけるよう、周知を図ります。

令和7年4月1日 黒沢尻東小学校長 高橋 秀和

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕